

令和5年度 日比崎小学校教育研究構想

【学校教育目標】

夢や目標をもち ともに高め合う子どもの育成

【めざす子ども像】

高め合うひびっ子

～なりたい自分に向けて ともにのびる～

【研究主題】

対話を通して、自らの考えが変容したことを自覚できる授業の創造
～外国語科、国語科の授業展開の工夫を通して～

【研究仮説】

外国語活動・外国語科で育成されるコミュニケーション能力を土台とし、
外国語科、国語科の授業展開の工夫を行うことで、対話を通して、
児童が自らの考えの変容を自覚できる授業を創造することができるであろう。

【研究の柱①】

学びの質を高める
話し方・聞き方の導入

児童同士のやり取りの中でも積極的に人と関わり、自己を表現し、他者と共感するなど、互いの存在について理解を深め、尊重しようとする話し方・聞き方の提案・検証

【研究の柱②】

国語科、物語文・説明文における対話型授業の展開

仲間との対話を通して新たな解決策や智恵を共創していく授業展開や、教師との対話、教材との対話を通して、読解力・表現力を身につける授業展開の提案・検証

【研究の柱③】

自己の変容を感じることが
できるふりかえりの実施

未来に向かって確実に成長していくための、気づきや学びを肯定的に受け取るふりかえりの提案・検証

【研究の柱④】

外国語科・外国語活動におけるモデル授業の展開

従来、本校で培ってきた外国語科・外国語活動の授業を日常的に推進する

【検証指標】

- ①「小学生のコミュニケーション能力に対するパフォーマンス尺度」の肯定的評価
- ②「標準学力調査（国語科）」における全国平均比のポイント
- ③「自律的学習動機尺度」の肯定的回答